

.....

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	建物火災で人命検索を実施中、急に濃煙に包まれガス中毒になったもの
3. 体験した事例の中心的要素	現場到着後、要救助者1名との報告を受け、火炎・煙の噴出がないため、空気呼吸器を着装せずに屋内進入し人命検索を実施した
4. 体験した事例の原因・理由	出動時に搭乗していた指揮隊車には空気呼吸器が積載されていなかった。要救助者を発見し、緊急に救助の必要があったため、空気呼吸器を着装せずに救出活動を行なったため

.....

1. 体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった。
------------------	--------------

.....

1. 発生日時	平成 17 年 1 月 9 日 午前 3 時頃
2. 発生した当時の天候	雪
3. 発生した活動現場	屋内：出火建物内
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	その他：ガス中毒
7. 事例体験時の活動	火災、現場活動初期、 [木造建物]
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	人命検索、
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[43]歳、勤続年数[24]年、現場経験年数[24]年、階級[消防司令補]、同様の活動 [頻繁]、任務 [複数隊の隊長]
○当事者B	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 []
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 []
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	A	現場到着後すぐに、要救助者1名の情報を火元関係者から得た	
経過2	A	屋内進入し2階を人命検索を実施	
経過3	A	3階を人命検索していた救助隊から、要救助者を発見の報を受けた	
経過4	A	救助隊と共に救出を開始しようとした矢先、急に濃煙に包まれた	
経過5	A	緊急に救助の必要があるため、空気呼吸器を着装しないまま救出活動を実施したため、煙を吸い込みガス中毒となった	
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】

.....

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

個人装備が不適切だった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	はい

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】

.....

○**注意力欠如、焦り等の対策について**

緊急に救助の必要がある場合でも、安全管理の徹底を図るよう全職員に周知した

○**装備・資機材の対策について**

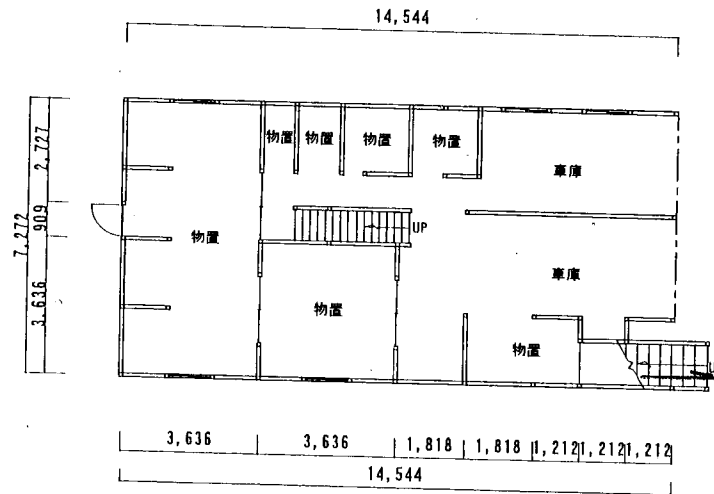
指揮隊車に空気呼吸器を積載した

○**活動環境の対策について**

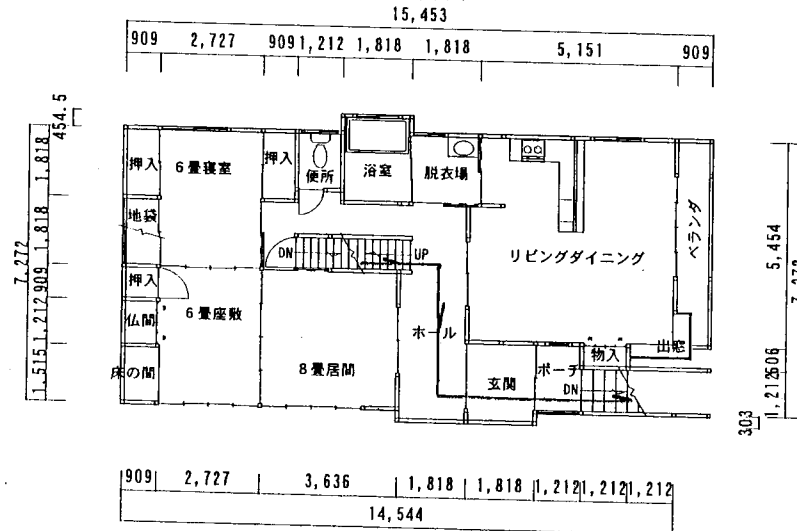
屋内進入時においては、空気呼吸器を着装するよう、改めて徹底を図るよう全職員に周知した

○**指揮・情報伝達の対策について**

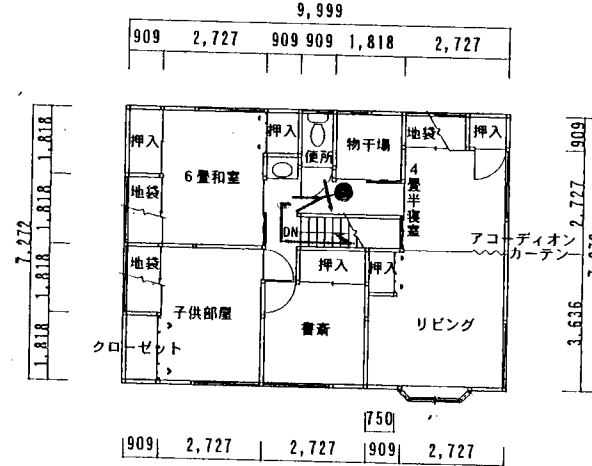
1 階平面図



2 階平面図



3 階平面図



凡例

人：要救助者

→：救出経路

1 階床面積	99.88 m ²
2 階床面積	101.82 m ²
3 階床面積	72.71 m ²
延べ床面積	274.41 m ²

単位：ミリメートル

災害発生状況図

